

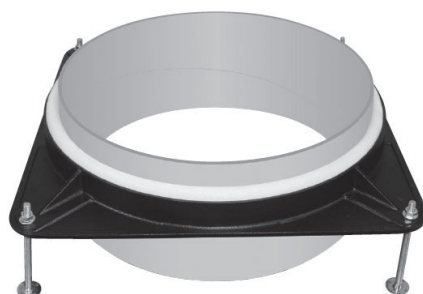
カネソウ 打込型マンホール鉄蓋

施工要領書

対象製品

打込型マンホール鉄蓋 サポート V

製品符号：MSV



この度は、カネソウ製品をご使用いただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、必ずこの「施工要領書」をご一読いただきますようお願いいたします。
間違った施工・取扱を行いますと、漏水や製品の損傷などの事故につながる可能性がありますので、ご注意ください。

カネソウ株式会社

〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地

TEL (059) 377-3232 FAX (059) 377-3905

東京支店

TEL (03) 3433-6645

大阪営業所

TEL (06) 7639-5870

仙台営業所

TEL (022) 214-8088

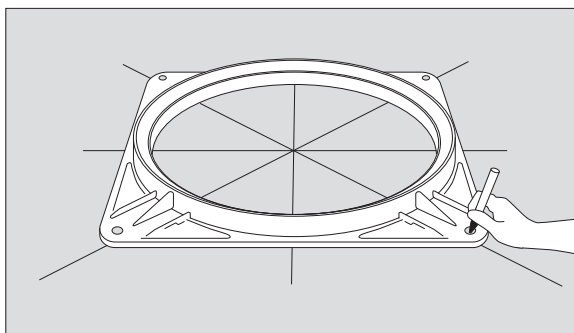
福岡営業所

TEL (092) 432-2532

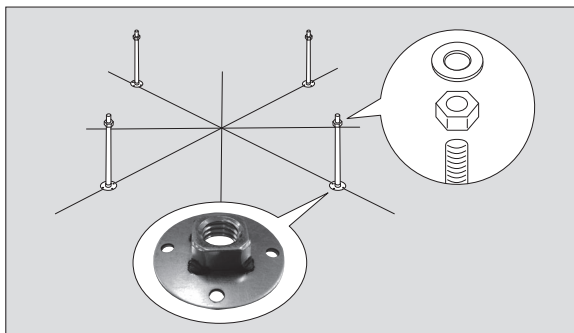
URL: <http://www.kaneso.co.jp/> E-mail: info@kaneso.co.jp

この内容は2023年4月現在のものです。仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

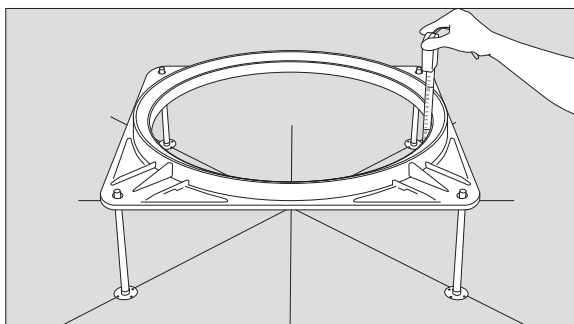
041-7A



- 1** 型枠上にマンホール芯を墨出し、枠のボルト固定穴が墨出した線上に来るように置き、ボルト取付位置をけがきます。

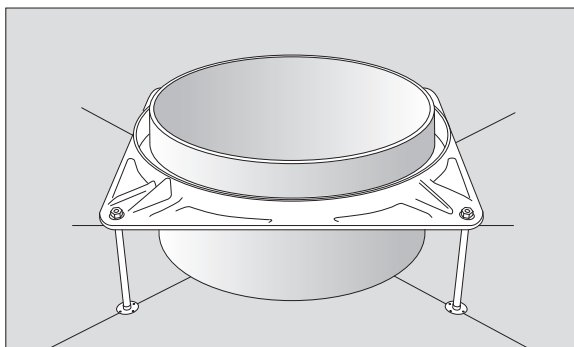


- 2** ①でけがいた取付位置に、固定プレートに釘で型枠パネルへ固定します。固定プレートにボルト、六角ナット、平座金の順で組み付けます。



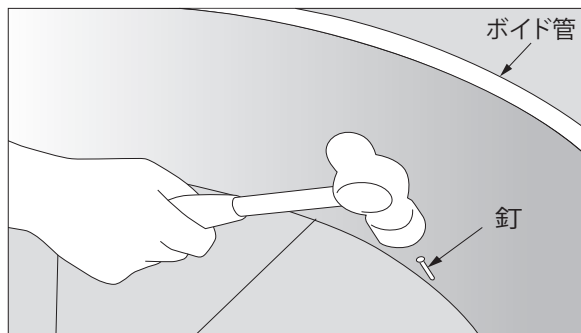
- 3** 枠をボルトの上に置き、枠を支える枠の下側の六角ナットを回してレベルを調整します。

注: 付属のボルトはコンクリート上面に飛び出さないよう、スラブ厚さより15mm~20mm程度短い設定です。

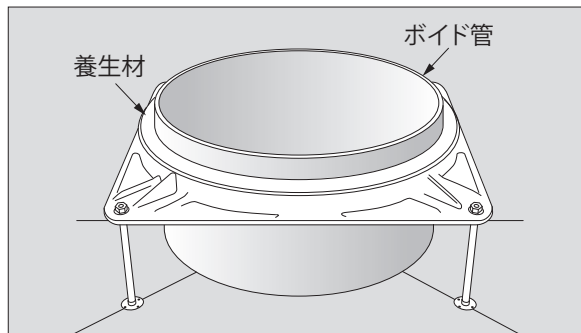


- 4** 枠の上側より平座金と六角ナットを締め付け、枠をしっかりと固定します。
次にボイド管を枠に差し込みます。

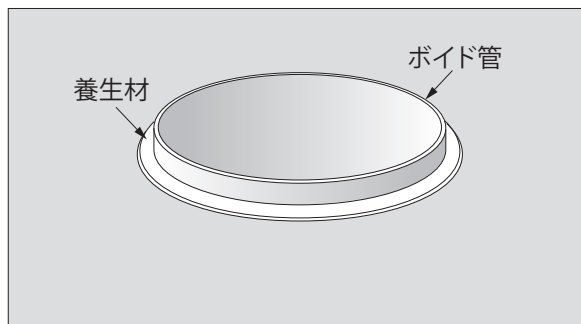
注: 差し込んだボイド管と枠との間には僅かに隙間が生じる場合がございますが、施工上問題ありません。隙間が大きい場合は、隙間の偏りが少なくなるよう、ボイド管の位置を微調整してください。



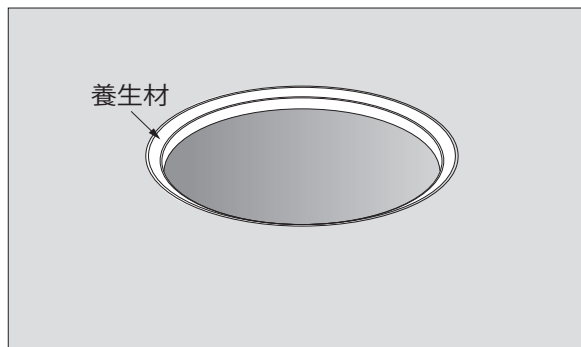
- 5** ボイド管の下からコンクリートが入らないよう、ボイド管の下部内側から釘を打って型枠に固定します。



- 6** コンクリートが枠受部に入らないように養生材を挿入し、セット完了。



- 7** コンクリートを打設します。



- 8** コンクリート硬化後、ボイド管をハンマーで外側よりたたき、ボイド管とコンクリートの縁を切って外しやすい様にし、取り外します。

注: 養生材は、蓋をかぶせる直前まで外さないでください。